令和6年度用小学校音楽

指導計画案(2024.2.29) -

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

・本資料は、教育芸術社発行の令和6年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽1~6〈104~604〉」に基づいて作成されています。 (用紙サイズは、B4ヨコ向きで、縮小率86%で作成されています。)

【本資料の扱い方について】

- ・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、 教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・本資料では、基本、1時間当たり1~2項目に精選して評価規準を示しています。

【2学期制への対応について】

・本資料は2学期制、3学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整し ながら指導される学期や月を設定してください。

題材名	1 文字で なりかし のかがてる	扱い時数の目安
	1. 音楽で みんなと つながろう	4 時間
	(1) 曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表すべ	青景や気持ちとの関わ
	りについて気付くとともに、思いに合った表現をするために	こ必要な、歌唱の技能
	を身に付ける。	
	(2) 音色、リズム、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出っ	けよさや面白さ、美し
題材の目標	さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの	関わりについて考え、
(2017) (2017)	曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて	て思いをもったり、曲
	や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり) する。
	(3) 曲想を感じ取って音楽を聴いたり、声を合わせて歌ったりす	る学習に興味をもち、
	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習	習活動に取り組み、日
	本や世界の遊び歌、踊りの音楽に親しむ。	

題材の意図

学年最初の本題材では、これから始まる2年生の音楽の授業に、子供たちが意欲をもって主体的に取り組むことができるように、友達と協働しながら表現と鑑賞の学習を通して音楽の楽しさを感じていきます。

この題材では、拍を感じ取りながらいろいろな国の挨拶の言葉を覚えて歌ったり、世界の遊び歌やいろいろな国の踊りの音楽を聴いて楽しんだりします。その際、歌いながらみんなで遊んだりリズム打ちをしたり、踊りの様子を想像しながら音楽を聴いて体を動かしたりします。このような様々な活動を通して、一人一人の発想を生かしながら学級全体をまとめていき、一人では体験することができない表現の楽しさや、友達と一緒に歌う喜びなどを味わえるようにしましょう。

学習指導要領との関連

A表現 (1) 歌唱**ア、イ、ウ**(ア)(**イ**)(**ウ**)

B鑑賞 ア、イ

[共通事項]※

- ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素
- ア 音色、リズム、強弱、拍
- イ 呼びかけとこたえ
- ※・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み 核となるものについては、太字で示しています。
- ・身近な音符、休符、記号や用語

題材の評価規準						
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)				
①知曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。(歌・鑑)②技思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能、互いの歌声を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)③知曲想と拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑)	思① リズム、拍を聴き取り、それらの働き が生み出すよさや面白さ、美しと感じ 取りながら、聴き取ったことと感じ 取ったこととの関わりについて考え、 曲や演奏の楽しさを見いだし、 曲や演奏の楽しさを見いだし、 と、はいている。(鑑) 思② 強弱、拍、呼びかけとこたえを聴き 取り、それらの働きが生み出がらと、聴き り、さ、美しと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことが表現を下でいる。(歌)	態① 曲想を感じ取って音楽を聴いたり、 声を合わせて歌ったりする学習に 興味をもち、音楽活動を楽しみなが ら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学 習活動に取り組もうとしている。 (歌・鑑)				

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
自分の こえや ともだちの こえを よく きいて うたいましょう。	○メッセージ	1	●\見つける/ 曲の感じをつかみ、「1のくみ」「2のくみ」の特徴に気付く。●\うたう/ 二つの組に分かれ、互いの声を聴き合いながら歌う。	◆曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】
ともだちと せかいの あそ びうたを 楽しみましょう。	♪小犬の ビンゴ ♪ロンドンばし(参考曲)	2	●\見つける/音楽に合わせて体を動かしながら曲を聴き、曲想と拍や リズムとの関わりに気付く。 ●\うたう/拍にのって楽しく遊びながら歌う。 ●\かんがえる/みんなで楽しく遊びながら、音楽の面白さを感じて聴 く。	◆リズム、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思①【行動観察、発言内容】
かくれんぼで あそんで いる ようすを おもいうかべ ながら うたいましょう。	(共)かくれんぼ	3	●\見つける/ 曲想と歌詞の表す情景や気持ち、リズムや呼びかけとこたえなどとの関わりに気付く。 ●\かんがえる/ 曲想を感じ取り、どのように強弱を工夫して歌うかについて思いをもつ。 ●\うたう/ 声の出し方や強弱に気を付けて、呼びかけ合っているように歌う。	 ◆強弱、拍、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。思②【行動観察、発言内容】 ◆思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能、互いの歌声を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。②技【演奏聴取】
いろいろな くにの おどり の 音楽を 楽しみましょう。	♪ティニクリン/エース オブ ダイヤモンド/とーしん ドーイ ♪ドードレブスカ ポルカ(参考曲)	4	 ●\見つける/ それぞれの音楽について、曲想とリズムや拍との関わりに気付く。 ●\かんがえる/ 気に入った音楽について、そのよさや面白さについて考え、伝え合う。 	◆曲想と拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ③知【行動観察、発言内容】

日五十十 万	0 はくの ナトナルナ ふしじしてる	扱い時数の目安
題材名	2. はくの まとまりを かんじとろう	6 時間
	(1) 曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付	付くとともに、思いに
	合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴い	て、声を合わせて歌う
	技能を身に付ける。	
	(2) リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさ	や面白さ、美しさを感
題材の目標	じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わり	について考え、曲想を
	感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いを	もったり、曲や演奏の
	楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。	
	(3) 拍子の違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・	協働的に歌唱や鑑賞の
	学習活動に取り組む。	

題材の意図

この題材では、1年生で身に付けた拍に対する感覚を基に学習を展開します。ここでは、2拍子と3拍子の違いを感じ取りやすい表現と鑑賞の教材が配置されています。それらの教材を生かして体を動かしながら歌ったり聴いたりする活動を通して、子供たちが2拍子と3拍子の違いや特徴を感得できるように学習を進めていきます。

また、常時活動として扱う「リズムあそび」を設け、友達とリズムリレーをしたり、友達とペアになってリズム打ちをしたりして、楽しみながら拍に対する感覚をより一層高めるとともに、拍子感を養うようにします。

学習指導要領との関連

A表現 (1) 歌唱**ア、イ、ウ(ウ)** (2) 器楽イ(ア)、ウ(ウ) (3) 音楽づくりア(ア)、イ(ア)、ウ(ア) B鑑賞 **ア、イ** [共通事項]

・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア リズム、旋律、拍

題材の評価規準						
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)				
①知曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。(歌・鑑)②技思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)	思① リズム、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、でように歌うかについて思いをもっている。(歌) 思② リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きを感じ取りながら、聴き取り、されらの関わりについて思いをもっている。(歌) 思② リズム、旋律、拍を聴き取りについた。とを感じ取りながら、関わりについてきととの関わりについてきを感じ取ったこととの関わりにいた。(鑑)	態① 拍子の違いに興味をもち、音楽活動 を楽しみながら主体的・協働的に歌 唱や鑑賞の学習活動に取り組もう としている。(歌・鑑)				

^{*「2}びょうしでリズムあそび①」「3びょうしでリズムあそび」は2拍子や3拍子の感覚を養うリズムの活動のため、本題材では器楽や音楽づくりの評価規準を設定していません。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
はくの まとまりを かんじ とりながら うたいましょ う。	○はしの 上で (そだてょう) 2 びょうしで リズムあそび①	1	●\見つける/ 曲想と2拍子のリズムや拍との関わりについて気付く。	◆曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ち との関わりについて気付いている。 ①知【演奏聴取、行動観察】
			● \うたう / 2拍子を感じて、手遊びをしながら声を合わせて歌う。	◆思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【演奏聴取、行動観察】
はくの まとまりを かんじ とりながら うたいましょ う。	○たぬきの たいこ (そだてょう) 3 びょうしで リズムあそび	3	●\見つける/ 曲想と3拍子のリズムや拍との関わりについて気付く。	◆曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ち との関わりについて気付いている。 ①知【演奏聴取、行動観察、発言内容】
		4	●「3びょうしで リズムあそび」をする。●\かんがえる/ 3拍子の音楽の感じに合う歌い方を考える。	◆リズム、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 思①【行動観察、発言内容、演奏聴取】
			●\ うたう / 3拍子を感じながら、友達と声を合わせて歌う。	◆思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【演奏聴取、行動観察】
2びょうしと 3びょうし の ちがいに 気を つけて き きましょう。	♪ミッキーマウス マーチ/メヌエット	5	●\見つける/ 2拍子と3拍子の違いに気付き、それぞれの曲想をつかむ。	◆曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】
		6	●\かんがえる/ 2拍子と3拍子の音楽の面白さを感じ取りながら聴く。	 ◆リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思②【行動観察、発言内容】 ◆拍子の違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容】 ※第1時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

昭士士 夕	いしころもろばる	扱い時数の目安
題材名	3. ドレミで あそぼう	10 時間
	(1) 曲想と旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す	計情景や気持ちとの関
	わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くと	とともに、思いに合っ
	た表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける	5.
	(2) 音色、旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係などを聴き	き取り、それらの働き
	が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き耳	反ったことと感じ取っ
題材の目標	たこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現をご	L夫し、どのように表
	現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見い	いだしながら曲全体を
	味わって聴いたりする。	
	(3) 互いの声や音を聴き合いながら階名で歌う学習に興味をもち	ら、音楽活動を楽しみ
	ながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り)組み、音の高低に対
	する感覚を養う。	

題材の意図

この題材は、1年生で扱った音程感覚を養う学習を、より進めることに重点を置いて設定しています。 音の高低を感じ取りながら聴いたり歌ったりする活動を通して、音の高低に対する感覚を養うようにします。その際、「ドレミ風船」を使って、音の高低を手の動きと関連付けて行うことにより、子供たちは楽しみながら体験的に音の高低を感じ取り、音程感覚をより着実に育てていきます。また、鍵盤楽器については、階名唱を基に旋律を演奏する技能を養ったり、吹き方の工夫を通して表現の仕方を学んだりします。

学習指導要領との関連

A表現 (1) 歌唱**ア、イ、ウ(ア)(イ)(ウ)** (2) 器楽**ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ)** (3) 音楽づくりア(ア)、イ(ア)、ウ(ア)

B鑑賞 ア、イ

[共通事項]

- ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色、リズム、**旋律、**音の重なり、フレーズ
- イ 音楽の縦と横との関係

^{*「}**-----**で せんりつあそび」は音を選んだりつなげたりして旋律をつくる学習につなげる旋律遊びの活動のため、本題材では音楽づくりの評価規準を設定していません。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ▶…鑑賞 (共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
音の たかさに 気を つけな がら、きいたり うたったり しましょう。	♪○ドレミの うた	1	●\かんがえる/ 歌詞に階名が入っている曲の面白さに注目しながら、「ドレミの うた」を聴く。●音の高さに気を付けて、「ドレミの うた」を歌いながら曲全体を楽しんで聴く。	◆音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思①【行動観察、発言内容】
		2	●\見つける/ 「ドレミ風船」を活用して音楽を聴いたり、一緒に歌ったりして曲想をつかむ。 ●\うたう/ 歌う姿勢や息の吸い方に気を付けて、明るい声で歌う。	◆曲想と旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容、演奏聴取】
音の たかさに 気を つけな がら、うたったり ふいたり しましょう。	○◇かっこう	3	◆\見つける/音の高さに気を付けながら、歌詞や階名で歌い、曲の特徴をつかむ。◆\かんがえる/うたう/歌詞の表す情景や気持ちに合った歌い方を考えて歌う。	◆思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱した り暗唱したりする技能、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて 歌っている。 ②技【行動観察、演奏聴取】
		4	● \ かんがえる / えんそうする / 歌詞の表す情景や気持ち、言葉の感じに合った演奏の仕方について思いをもって演奏する。	 ◆楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、絵譜などを見たりして演奏する技能、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③知・技【行動観察、演奏聴取】 ◆音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。思②【行動観察、発言内容、演奏聴取】
音の たかさに 気を つけながら、うたや・・・・・でおいかけっこを しましょう。	○◇かえるの がっしょう	5	●\ 見つける / 音の高さに気を付けながら、歌詞や階名で歌い、曲の特徴をつかむ。	◆曲想と旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、演奏聴取】
		6	●\かんがえる/ 曲に合った表現の仕方について思いをもって歌ったり、 それを基に演奏したりする。	 ◆旋律、フレーズ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ■③【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ◆楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、絵譜などを見たりして演奏する技能、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③知・技【行動観察、演奏聴取】
		7	●\ うたう ∧えんそうする/互いの歌声や演奏の音を聴き合いながら、輪唱したり輪奏したりする。	◆思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 ④技【行動観察、演奏聴取】

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ▶…鑑賞 (共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
うたに あわせて → ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	◇○ぷっかり くじら (そだてょう) -・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8	◆\見つける/ 演奏を聴いたり歌ったりすることを通して、曲の特徴をつかむ。◆\かんがえるハうたう/ 曲の特徴を生かした歌い方について思いをもって歌う。	◆曲想と旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】
		9	●\かんがえる∧えんそうする/ 曲の特徴を生かした演奏の仕方について思いをもって演奏する。	◆リズム、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、 美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて 考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをも っている。 思④【行動観察、発言内容、演奏聴取】
		10	●「━━で せんりつあそび」に取り組み、歌と合わせて楽しむ。	◆互いの声や音を聴き合いながら階名で歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ※第1時から第10時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

田石十十 力	4 かいよっの中にオフ 立た 楽しまる	扱い時数の目安
題材名	4. せいかつの 中に ある 音を 楽しもう	6 時間
	(1) 曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す	ト 情景や気持ちとの関
	わり、身の回りの様々な音の特徴や音のつなげ方の特徴につ	ついて、それらが生み
	出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った	と表現をするために必
	要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、音楽で	づくりの技能を身に付
	ける。	
題材の目標	(2) 音色、強弱、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが	び生み出すよさや面白
(2) (2) (1) (1)	さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取った	ここととの関わりにつ
	いて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌う	うかやどのように音を
	音楽にしていくかについて思いをもつ。	
	(3) 身の回りにある音や、擬声語を使った音楽に興味をもち、音	音楽活動を楽しみなが
	ら主体的・協働的に歌唱や音楽づくりの学習活動に取り組み	み、身の回りの音への
	意識を高める態度を養う。	
1214 0 本回		

題材の意図

子供たちを取り巻く環境は、自然や社会の目に見える現象だけでなく、耳に入る音や音楽もその一つです。ふだん何気なく聞いている音や音楽がどのような意味をもち、人間や動植物にどんな影響を及ぼすのかという研究も行われているほどです。ここでは、低学年なりにそうした「音環境」に気付き、その音を自分なりに捉えて声で表現し、その声を使って音楽をつくる学習を展開します。次に、鳴き声を声で表現する学びを生かして、歌詞の表す様子を想像しながら歌う学習につなげていきます。このような学習を通して、身近なもので音楽をつくることができると実感したり、身の回りの音の意味を考えたりして、自ら音を出すときにどうしたらよいのか、生活や社会とどのように関わっているのかなどを考えることができる子供の成長を目指します。

学習指導要領との関連

A表現 (1)歌唱**ア、イ、ウ**(ア)(**イ**) (3)音楽づくり**ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ**) [共通事項]

- ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素
- ア 音色、旋律、強弱、音の重なり
- イ 反復

題材の評価規準						
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)				
①知身のいて、それらせて気が生み出すいる。(づ)②技 発想を生かした表現を中につなどがにないたりと説を生かした表現を生かした表現を生かした表現を生かした表現を生かした。(づ)③知 音がはいたでは、にはないでは、にはないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	思① 音色、	態① 身の回りにある音や、擬声語を使った音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。(歌・づ)				

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ▶…鑑賞 (共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
みの まわりの 音を こえで あらわして、音楽を つくり ましょう。	☆なきごえを つかって あそぼう	1	●\見つける/身の回りで聴こえる鳴き声の音色の特徴に気付く。 ●\かんがえる/声の出し方を工夫して、声遊びをし、音楽づくりの発想を得る。	◆身の回りで聴こえる鳴き声の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ①知【演奏聴取、発言内容、音ノート】 ◆音色、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声遊びを通して、音楽づくりの発想を得ている。 思①【演奏聴取、発言内容、行動観察】
		2	●声の感じ、高さや強弱に気を付けて、見付けた鳴き声を伝え合う。	◆発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。 ②技【演奏聴取、発言内容】
		3	●「つくった 音楽の れい」を試し、音のつなげ方や重ね方の特徴に気付く。	◆音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ③知【演奏聴取、発言内容、行動観察】
		4	●\かんがえるハつくる/見付けた鳴き声の組み合わせ方を工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いをもったり、発表し合ったりする。	◆音色、強弱、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。 思②【演奏聴取、発言内容、行動観察】 ◆思いに合った表現をするために必要な、反復などの音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 ④技【演奏聴取、発言内容】
がしの かんじを 生かして うたいましょう。	(共)虫の こえ	5	●\ 見つける /虫の鳴き声の感じが出るように曲想を感じ取って歌う。	◆曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ⑤知【演奏聴取、発言内容】
		6	●\かんがえる/ 擬声語や旋律を生かした歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	◆音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 思③【演奏聴取、発言内容、行動観察】
			● \うたう / 声の出し方や発音に気を付けて歌う。	 ◆思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ⑥技【演奏聴取】 ◆身の回りにある音や、擬声語を使った音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。 態①【演奏聴取、発言内容、行動観察】 ※第1時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

田五十十 万	「 リブ)ナームナムマ 単しまる	扱い時数の目安
題材名	5. リズムを かさねて 楽しもう	8 時間
題材の目標	 (1) 曲想とリズムや音の重なり、拍などの音楽の構造との関わりの仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合ったまな、器楽の技能を身に付ける。 (2) リズム、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととえ、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するが、 (3) 拍子やリズムを意識して歌などに合わせてリズム伴奏をする音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動にズムに対する感覚を養う。 	表現をするために必要 出すよさや面白さ、美 との関わりについて考 かについて思いをもつ。 ることに興味をもち、
題はの音図		

題材の意図

この題材では、「2. はくの まとまりを かんじとろう」で感じ取った 2 拍子と 3 拍子との感じの違いを思い出し、拍にのってリズム唱したり、手拍子や打楽器でリズムを打ったりする活動を進めます。 リズムを重ねて演奏する学習を進めながら、リズム伴奏に重ねて歌う楽しさを味わい、 2 拍子や 3 拍子の音楽がもつよさや面白さを感じていきます。

リズム伴奏を友達と分担して演奏したり、それに合わせて歌ったりする協働的な学習を通して、拍子やリズムに対する感覚を高めるようにします。そうした活動の中で、リズム譜を見て演奏するための視奏の基礎となる力を養い、あわせて拍を意識しながら互いの音を聴いて演奏する技能も育てていきましょう。

また、2年生からは音符や休符の学習も始まります。ここでは、表現の活動を通して、音符や休符の長さの違いに気付いたり、リズム譜を見て演奏することに慣れ親しんだりするようにします。

学習指導要領との関連

A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(ウ) (2)器楽**ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ**)

(3)音楽づくりア(ア)、イ(ア)、ウ(ア)

〔共通事項〕

・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素

ア リズム、音の重なり、拍

・身近な音符、休符、記号や用語

4分音符、4分休符、8分音符、8分休符

題材の評価規準				
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)		
①知 曲想とリズムや音の重なり、拍などの音楽の構造との関わりについて気付いてる。(器)②技 思いに合った表現をするために必要な、範別を見たり、するととででである。(数は、変なを見たでででは、変なを見れて、変なを見れて、変なを見れて、変なを見れて、変なを見れて、変なを見れて、変なのでは、との楽器ののでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、	思① リズム、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。(器)	態① 拍子やリズムを意識して歌などに合わせてリズム伴奏をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・助りに器楽の学習活動に取り組もうとしている。(器)		

^{*「2}びょうしでリズムあそび②」は2拍子の感覚を養うリズムの活動のため、本題材では器楽や音楽づくりの評価規準を 設定していません。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ▶…鑑賞 (共)…共通教材	時 扱数 い	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
2びょうしの はくに のって リズムを うちましょう。		1	● 2 拍子の拍のまとまりを感じ取りながら、リズム遊びをしたり歌ったりする。 ● \えんそうする/ 2 拍子を感じ取りながら、リズム唱をしたりリズム打ちをしたりする。 ● \見つける/ リズム①と②が、4 分音符と 4 分休符でできていることに気付く。	
			●\ 見つける / 歌と合わせてリズム打ちし、リズムの違いによる曲想の 違いに気付く。	◆曲想とリズムや音の重なり、拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【発言内容、行動観察】
		2	●\えんそうする/ 2拍子の拍にのって、リズム譜を見ながら打楽器で演奏する。	◆思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。 ②技【演奏聴取】
			●\ かんがえる / 2拍子を感じ取りながら、歌の旋律に合ったリズムの組合せを工夫し、表現の仕方について思いをもつ。	
3びょうしの はくに のって リズムを うちましょう。	◇○いるかは ざんぶらこ	3	●3拍子の拍のまとまりを感じ取りながら歌う。 ●\見つける/音の重なりを聴きながらリズム打ちし、曲想と3拍子の 関わりに気付く。 ●3拍子を感じ取りながら、リズム譜を見て打楽器で演奏する。	◆曲想とリズムや音の重なり、拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、演奏聴取、発言内容】
		4	●\ かんがえる / 楽器の組合せを工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、 曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 思①【行動観察、演奏聴取、発言内容】
			●\ えんそうする ∧ うたう /3拍子の拍にのって、歌とリズムを重ねて演奏する。	◆思いに合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や歌声、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③技【行動観察、演奏聴取】
はくに のって 楽しく がっ そうしましょう。	◇○山の ポルカ	5	●曲想と2拍子のリズムとの関わりを感じ取って歌う。 ●\見つける/リズムの違いから生まれる曲想の違いに気付く。	◆曲想とリズムや音の重なり、拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】
		6	●\見つける/\えんそうする/楽譜を見ながら、リズム伴奏をしたり旋律を 階名唱したりして曲の特徴に気付き、鍵盤ハーモニカで分担奏す る。	◆思いに合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や歌声、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③技【演奏聴取、行動観察】
		7	●\ かんがえる / 曲想に合った演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	◆リズム、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 思①【行動観察、発言内容】
		8	●\えんそうする/ 音色に気を付けながら、2拍子の拍にのって合奏する。	 ◆楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 ④知・技【演奏聴取、行動観察】 ◆拍子やリズムを意識して歌などに合わせてリズム伴奏をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。態①【行動観察、発言内容】 ※第1時から第8時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

日五十十 万	ノルみきした 日のはとる	扱い時数の目安
題材名	6. くりかえしを 見つけよう	6 時間
	(1) 曲想と反復などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す	す情景や気持ちとの関
	わり、リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それら	らが生み出す面白さな
	どと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするた	ために必要な、自分の
	歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、反復を用いて、簡単	単な音楽をつくる技能
	を身に付ける。	
	(2) リズム、旋律、フレーズ、反復などを聴き取り、それらの個	動きが生み出すよさや
題材の目標	面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ即	反ったこととの関わり
	について考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように	こ歌うかやリズムの組
	み合わせ方を工夫し、どのように音を音楽にしていくかにつ	いて思いをもったり、
	曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いた	きりする。
	(3) 旋律やリズムの反復に興味をもち、音楽活動を楽しみながら	ら主体的・協働的に歌
	唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に	こ見られる旋律やリズ
	ムの反復に親しむ。	

題材の意図

この題材では、表現や鑑賞の学習を通して、音楽の仕組みの一つである「反復」が生み出す、旋律やリズムが繰り返される音楽の面白さに気付いていくようにします。

歌唱教材「かねが なる」では、手を上下に動かして音の高さに気を付けながら歌ったり、鐘の音を表す擬音語で歌ったりして、短い旋律が反復されてできている曲であることに気付くようにします。さらに、音楽づくりの教材「おまつりの音楽」では、太鼓の口唱歌やリズムカードを活用して、反復を使って8拍のリズムをつくります。

こうした表現教材と関連させながら、鑑賞曲「トルコこうしんきょく」では、二つの旋律がそれぞれ繰り返される面白さに注目しながら音楽を聴き、曲のよさを感じ取ります。

「反復」は音楽のいろいろなところで見付けることのできる音楽の仕組みです。この題材で学んだ「反復」の面白さを、今後の学習につなげていけるようにしましょう。

学習指導要領との関連

A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ)(ウ) (3)音楽づくりア(イ)、イ(イ)、ウ(イ)

B鑑賞 ア、イ

〔共通事項〕

・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素

ア リズム、旋律、強弱、拍、フレーズ

イ 反復

題材の評価規準				
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)		
①知・技 曲想と反復などの音楽の構造との 関わり、曲想と歌詞の表す情景やく 気持ちとの関わりにつった気現をで気現をで気現をに、 ととめに必要な、電子をでしている。 のつかなが方のではでいる。 のつかでででである。 ののかででである。 ののかででである。 ののかででである。 ののかででである。 ののが生みいている。 ののが生みいている。 ののが生みいている。 ののが生みに、音楽をつくったをはいる。 ののでは、音楽をつくっている。 ののではなどの音楽のでは、 ののででである。 ののではなどの音楽のでである。 ののでである。 ののでは、 ののでは	思① 旋律、例きが取り自ったという。 では、の働きが取り自ったという。 では、の働きが取り自ったという。 を聴きないのでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、	態① 旋律やリズムの反復に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (歌・づ・鑑)		

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ▶…鑑賞 (共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつの くりかえしに 気を つけて うたいましょ う。	○かねが なる	1	●\うたう/見つける/ 旋律の音の動きやリズムに気を付けて歌い、曲全体が旋律の反復でできていることに気付く。●\かんがえる/ 旋律の反復を生かして歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ①知・技【発言内容、行動観察、演奏聴取】
くりかえしを つかって 音 楽を つくりましょう。	☆おまつりの 音楽	2	●いろいろなリズムパターンを組み合わせて楽しむ。●\つ<る/\見つける/ 反復を用いて8拍のリズムをつくって聴き合い、いろいろな反復の仕方に気付く。	◆リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ②知【発言内容、行動観察】
		3	●\ かんがえる ハつくる/ 反復の仕方を考えてリズムの組合せを工夫し、思いをもって音楽をつくる。	◆リズム、拍、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを 感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、ど のように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。 思②【発言内容、ワークシート】
		4	●反復を生かしてつくったリズムをつなげて演奏し、聴き合う。	◆思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 ③技【演奏聴取、ワークシート】
せんりつの くりかえしに 気を つけて ききましょう。	♪トルコ こうしんきょく		 ◆\見つける/二つの旋律の反復に気を付けて聴く。 ●強弱の変化に気付き、そのよさや面白さを感じ取って聴く。 ●\かんがえる/旋律の反復や強弱の変化に気を付けて、曲全体を味わって聴く。 	 ◆曲想と反復などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ④知【行動観察、発言内容】 ◆旋律、強弱、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思③【行動観察、発言内容】 ◆旋律やリズムの反復に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容】 ※第1時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材の意図

この題材では、身近にあるいろいろな打楽器が個々にもつ音色のよさや、それらの組合せの面白さを 感じ取りながら、表現の仕方を工夫したり音楽を聴いたりする学習を進め、音色に関する感覚をさらに 養っていきます。

打楽器のいろいろな演奏の仕方を試しながら音色に親しんだ1年生の学習を踏まえて、本題材では、 鑑賞を通して打楽器の音色のよさなどを味わいながら、打楽器の音色への興味をさらに引き出し、それ をきっかけにして、音楽づくりや器楽の学習へと関連付けて展開します。

打楽器の音色を聴き比べたり、音やリズムの組合せによる響きの違いを感じ取ったりするために行う音楽づくりの学習では、「打楽器を使って音でお話をする」といった、音によるコミュニケーションを図りながら、音楽の仕組みの一つ「呼びかけとこたえ」の働きが生み出す楽しさを感じ取ることができます。

学習指導要領との関連

A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア) (ウ) (2)器楽ア、イ(ア) (イ)、ウ(ア) (イ) (ウ) (3)音楽づくりア(イ)、イ(ア) (イ)、ウ(イ)

B鑑賞 ア、イ

〔共通事項〕

- ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素
- ア 音色、リズム、音の重なり
- イ 反復、呼びかけとこたえ
- ・身近な音符、休符、記号や用語
- 2分音符

題材の評価規準				
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)		
①知 曲想と音色などの音楽の構造との 関わりについて気付いて気信いて気信いて気信いて気信いて気信いて気信が表現 で表現 で表現 である。 (②知・技 音やフレーズのつなば方の特質 自むとうできる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	思① 音とと、 を聴きな、ととでは、 を聴きな、ととでは、 をいっ、 をでは、 ののでが、 をでは、 ののででがかがじいでががきでいいでがいががじいでがいががじいでがいががじいでがいががじいでいでがいかがでいる。 ののででは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでが、 ののでは、 のので	態① 楽器の音色に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器 楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に 取り組もうとしている。(器・づ・ 鑑)		

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
いろいろな がっきの 音の 中から すきな 音を さがしましょう。	♪だがっき パーティー	1	●\見つける/ 打楽器の音色に気を付けて聴き、曲の特徴に気付く。	◆曲想と音色などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】
さかしましょう。		2	●\ かんがえる / 打楽器の音色やリズムなどの変化に気付いて、曲全体を味わって聴く。	◆音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思①【行動観察、発言内容】
がっきの 音の くみあわせ	☆がっきで おはなし	(2)	●\見つける/楽器の音色の特徴に合うリズムを見付ける。	
を 楽しみましょう。		3	●\ かんがえる /楽器の音色に合うリズムを選び、反復や呼びかけとこたえを使って、つなげる順番を考える。	◆音色、リズム、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。 思②【行動観察、演奏聴取】
		4	●\ かんがえる ハつくる/ 呼びかけとこたえを使って、友達とリズムのつなげ方を考え、音楽をつくる。	◆音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 ②知・技【ペア活動、演奏聴取】
			●ペアでつくったリズムを発表する。	
いろいろな がっきの 音を かさねて えんそうしまし ょう。	◇○かぼちゃ	5	●\見つける/ 曲の感じをつかんで、歌ったりリズムを打ったりする。 ●\かんがえる/ 打楽器の音色の特徴を生かして、音の組合せや重ね方を 工夫し、曲想に合う表現について思いをもつ。	◆音色、リズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、 美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて 考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをも っている。 思③【行動観察、発言内容】
		6	●\えんそうするハうたう/歌に合わせて演奏したり友達の演奏を聴いたりして、感想を伝え合う。	 ◆曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能や、互いの楽器の音や歌声、伴奏を聴いて、音を合わせて表現する技能を身に付けて、演奏したり歌ったりしている。 ③知・技【演奏聴取、発言内容】 ◆楽器の音色に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容】 ※第1時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

日五十十 万	0 + 5 + 4 + 4 + 1 + 5 4 + 2 + 5	扱い時数の目安
超材名	8. よりすをわもいりかへより	7 時間
題材名	 8. ようすを おもいうかべよう (1) 曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌話との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に会し、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこと考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わったり、曲を演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わったり、曲を演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わったり、曲を演奏の楽しさを見いたしながら曲全体を味わったり、曲を演奏の楽しさを見いたしながら曲を体を味わったり、曲を演奏の楽しさを見いたしながら曲を体を味わったり、曲想と音楽を形づくっている要素や歌詞の表す情景や気持ち 	同の表す情景や気持ち 気付くとともに、思いこ付ける。 み出すよさや面白さ、ととの関わりについて かについて思いをもって聴いたりする。
	もち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器を 取り組む。	※、鑑賞の学習活動に

題材の意図

この題材では、歌詞が表す様子や音楽を聴いて想像したことと、音楽を形づくっている要素などとの 関わりについて気付き、曲のよさや面白さを見いだしながら聴いたり、思いをもって表情豊かに表現し たりすることができるように学習を進めます。

鑑賞の学習においては、想像力を働かせて音楽と関わることができるように、曲の感じに合わせて体を動かしたり、聴いて感じたことを友達と伝え合ったりして、場面の様子やその変化を想像しながら、曲全体を味わって聴くようにします。

また、歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら、言葉の感じを生かした歌い方や声の出し方を工夫して歌う学習を深め、思いをもって歌うことの大切さを押さえるとともに、きれいな発音や発声に気を付けて歌う習慣を身に付けるようにしましょう。

学習指導要領との関連

A表現 (1) 歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ)(ウ) (2) 器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ)

B鑑賞 ア、イ

[共通事項]

・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素

ア 音色、リズム、速度、旋律、強弱

イ 反復

題材の評価規準					
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)			
①知・技 曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表いたの関わりにつれて、思いに合って気持ちとの関わいに合ったの、思いに合ったので発音に気を付けて歌っている。(歌) ②知 曲想と音色や旋律などの音楽のでいる。(歌) ②知 き音色や旋律などの音楽でいる。(器) ③知と音色と演奏の仕方との関思のいた表現をするために必要なけている。(器・数とのではないでありについて、必要に合った表現をする方にに必要な、一方を演奏している。(器)	思① 音色、旋律、反復すよさを高さいたことを聴きや面がした。 を聴きや面がいたの関わないだいが、という。 を感じ取ったでではいだ。 の動きが取った演奏のでではいだ。 のでではいがいた。 のでではいがいた。 のででではいができる。 のででででは、 のでででででででいた。 ののでででででいた。 ののででででできる。 ののでででできる。 ののでででできる。 ののでででできる。 ののでででできる。 ののででできる。 ののででできる。 ののででできる。 ののででできる。 ののででできる。 ののででできる。 ののででできる。 ののででできる。 ののででできる。 ののででできる。 ののででできる。 ののででできる。 ののでできる。 のででできる。 のででできる。 のででできる。 のででできる。 のででできる。 のでできる。 のででできる。 のででできる。 のでできる。 のでできる。 のでできる。 のでできる。 のでできる。 のででできる。 のででできる。 のででででででできる。 のででできる。 のででできる。 のででできる。 のでできる。 のでできる。 のでできる。 のででできる。 のででできる。 のででできる。 のででできる。 のででできる。 のででできる。 のでできる。 のでできる。 のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	態① 曲想と音楽を形づくっている要素や歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器・鑑)			

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【 評価方法】
・・ かしや 音楽の かんじを 生 かして うたいましょう。	○あのね、のねずみは	1	●\見つける/ 歌詞の表す様子を想像し、リズムに気を付けながら歌い、曲想との関わりに気付く。 ●\かんがえるハうたう/ 歌詞の表す様子や曲想を生かした歌い方について思いをもって歌う。	◆曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ①知・技【演奏聴取、発言内容】
音楽が あらわす ようすを おもいうかべながら きき ましょう。	♪たまごの からを つけた ひなど りの バレエ	2	●音楽が表す様子を思い浮かべながら聴く。 ●\見つける/ 旋律の反復や変化に気付き、音楽が表す様子の移り変わりを楽しんで聴く。	◆曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ②知【発言内容、行動観察】
		3	●\ かんがえる / 音楽が表す様子の移り変わりを楽しみながら、曲全体を味わって聴く。	◆音色、旋律、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思①【行動観察、発言内容】
・・ かしの ようすを おもいう かべながら うたいましょ う。	(共)夕やけこやけ	(3)	●\かんがえる/ 歌詞の表す情景を想像しながら歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	◆音色、速度、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 思②【発言内容、演奏聴取】
		4	●\見つける/ 曲想を感じ取りながら、歌詞の中から自分の気に入った部分を見付ける。 ●\うたう/ 工夫した歌い方を生かして、情景を想像しながら歌う。	◆曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ①知・技【発言内容、演奏聴取】
かしの ようすを おもいう かべながら うたったり ふ いたり しましょう。	○◇小ぎつね	5	●\見つける/ 歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら歌い、曲想との関わりに気付く。 ●\かんがえるハラたラ/ 曲想を生かした歌い方について思いをもって歌う。	◆音色、速度、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 思②【発言内容、演奏聴取】
		6	●\えんそうする/ 音色や旋律などを意識し、息の強さや指のポジション に気を付けて演奏する。	◆楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③知・技【演奏聴取】
		7	●\ かんがえる / 曲想に合った音色や速度を考え、演奏の仕方について思いをもつ。	 ◆音色、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。思③【演奏聴取、発言内容、行動観察】 ◆曲想と音楽を形づくっている要素や歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 熊①【発言内容、ワークシート】 ※第1時から第7時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

日五十十 万	0 日本の さたで のわがてき	扱い時数の目安
題材名	9. 日本の うたで つながろう	4 時間
	(1) 曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、言葉の抑揚	について、それらが生
	み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合	った表現や、発想を生
	かした表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴い	て、声を合わせて歌う
	技能や、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだり	つなげたりして表現す
	る技能を身に付ける。	
 題材の目標	(2) 旋律、拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み	出すよさや面白さ、美
医何 切 价	しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこと	との関わりについて考
	え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかにつ	ついて思いをもったり、
	旋律遊びを通して、音楽づくりの発想を得たり、曲や演奏	の楽しさを見いだしな
	がら曲全体を味わって聴いたりする。	
	(3) わらべうたに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的	・協働的に歌唱や音楽
	づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、ほかのわらべうたに	も親しむ。

題材の意図

この題材では、友達と一緒に遊びながら歌う楽しさや喜びを味わう活動を通して、我が国や郷土の音楽のもつ雰囲気や表情などに自然に親しむことをねらっています。教材の配列も、「名前でせんりつあそび」などの活動を通して、わらべうたを音楽としてより身近に感じ取ることができるように考慮されています。また、友達と遊んだり歌ったりする活動を通して、無理なく拍感を培ったり、我が国の音階など伝統的な音感覚を養ったりして、我が国の音楽らしさが感じられる旋律づくりをするための素地をつくっていきます。

こうした学習を踏まえ、ふだんの生活の中の遊びとわらべうたが関わっていることに気付いたり、ほかのわらべうたにも関心をもったりすることができるようにしましょう。

学習指導要領との関連

A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(ウ) (3)音楽づくりア(ア)、イ(ア)、ウ(ア)

B鑑賞 ア、イ

〔共通事項〕

・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素

ア 音色、リズム、旋律、拍、フレーズ

題材の評価規準				
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)		
①知 曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。(歌・鑑)②技 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌った技言葉やわらべうたが醸し出す音の特徴について、それらが生み付きなどと関わらせて表現を生かした表現を生かした表現を生かした表現を生かしたともに、発想を生かした表現をするために必要な、即興的に音を選んだりっなげたりして表現する技能をっている。(づ)	思① 音色、旋律、拍、フレーズを聴きなや も、が生み出りなたという。 というについてはながと感じ取ったといる。 を感じ取ったといる。 の自さないではながといる。 の方ではないではないではないではないででででででででででででででででででででででで	態① わらべうたに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・づ・鑑)		

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
わらべうたを きいたり う たったり しましょう。	♪ずいずい ずっころばし/ あんたがた どこさ	1	 ◆\見つける/「ずいずいずっころばし」を聴いて、曲想と歌詞の表す情景や気持ち、旋律や拍との関わりについて気付く。 ◆\かんがえる/「あんたがた どこさ」の歌詞の表す情景や気持ち、旋律や拍、フレーズを基に、遊ぶ様子を思い浮かべながら楽しんで聴いたり歌ったりする。 	◆曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】
わらべうたを きいたり う たったり しましょう。	○なべ なべ そこ ぬけ	2	◆\かんがえる/ わらべうたの特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。◆\うたう/ 遊びの状況に応じて、互いの歌声を聴いて声を合わせて歌う。	◆音色、旋律、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、 美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて 考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもった り、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いたりしている。 思①【発言内容、行動観察、演奏聴取】 ◆思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせ て歌う技能を身に付けて歌っている。
3つの 音で せんりつを つ くって あそびましょう。	☆名前で せんりつあそび	3	●\見つけるハかんがえる/名前の抑揚に注目して、旋律づくりの発想を得る。	②技【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ◆リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、旋律遊びを通して、音楽づくりの発想を得ている。 思②【発言内容、行動観察、演奏聴取】
		4	●\つ<3/> (表別では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	◆言葉やわらべうたが醸し出す音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。 ③知・技【演奏聴取、発言内容】 ◆わらべうたに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【発言内容、行動観察】 ※第1時から第4時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

日本十十一	10 7) 10 - 4] 11 - 14] 2	扱い時数の目安				
題材名	10. みんなで あわせて 楽しもう	10 時間				
	(1) 曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞	同の表す情景や気持ち				
	との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現を	するために必要な、範				
	唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能	能や、互いの歌声や楽				
	器の音を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付	ける。				
	(2) 音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生	み出すよさや面白さ、				
題材の目標	美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこと	美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて				
	考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現する	るかについて思いをも				
	ったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わ	って聴いたりする。				
	(3) 歌声や楽器の音色、声や音を合わせることに興味をもち、青	音楽活動を楽しみなが				
	ら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み	み、友達と一緒に表現				
	する楽しさを感じる。					

題材の意図

この題材では、2年生の学習のまとめとして、友達と気持ちを合わせて楽しく演奏したり合奏の楽しさを感じ取りながら聴いたりする学習を行います。

歌唱や器楽では、これまでの学習で身に付けてきたことを生かし、歌声や楽器の音色、旋律やその組み合わせ方について、自分なりの思いをもちながら表現を工夫することができるようにします。また、互いの声や音を聴き合いながら歌ったり演奏したりする力を養う中で、自分や友達が担当するパートの役割を意識し、音だけでなく気持ちを合わせて演奏することの喜びを味わうようにしましょう。

鑑賞では、いろいろな楽器の音色に気を付けて聴き、「反復」や「呼びかけとこたえ」の面白さを感じ取りながら、「音楽を聴くことが楽しい」「好きだ」と思える気持ちを育てていきましょう。

2年生での学びを振り返りながら、3年生以降も意欲をもって取り組めるように留意して、学習を締めくくりましょう。

学習指導要領との関連

A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ) B鑑賞 ア、イ

[共通事項]

・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素

ア 音色、旋律、音の重なり

イ 反復、呼びかけとこたえ

題材の評価規準 				
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)		
①知曲想と音を変している。(歌) というでは、大きなどの歌・とのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きなどのでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	思① 音のでは、	態① 歌声や楽器の音色、声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器・鑑)		

PZ 1.1. a. 37 /7 1.0.3/6

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
たがいの うたごえを きき あいながら うたいましょ う。	○楽しいね	1	●\見つける/手拍子や掛け声のよさや面白さに気付き、曲想を感じ取って 歌ったり聴いたりする。	◆曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの 関わりについて気付いている。 ①知【発言内容、演奏聴取】
		2	● \うたう / 互いの歌声を聴き合い、声を合わせて歌う。 ● \かんがえる / 歌詞の表す気持ちを想像し、気持ちが伝わる歌い方について思いをもって歌う。	◆音色、旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、 美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考 え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 思①【行動観察、発言内容、演奏聴取】
うたごえと がっきの 音を あわせて えんそうしまし ょう。	◇○こぐまの 二月	3	●\見つける/ 歌詞の表す情景や主な旋律の特徴から曲想をつかむ。	◆曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの 関わりについて気付いている。 ①知【発言内容、演奏聴取】
		4	●音色に気を付けて、主な旋律や低音のパートを演奏する。	◆楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカ及び低音楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 ②知・技【行動観察、演奏聴取】
		5	●\えんそうするハうたう/ 互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら歌ったり演奏したりする。	◆思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 ③技【演奏聴取、行動観察】
		6	●\ かんがえる / 曲想に合う表現の仕方について思いをもち、歌声や音を合わせて演奏する。	◆音色、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 思②【行動観察、発言内容、演奏聴取】
がっそうの 楽しさを あじ わいながら ききましょう。	♪エンターテイナー	7	●\見つける/演奏している楽器の音色の違いや、楽器の音の重なりに気付いて聴く。	◆曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】
		8	●\かんがえる/ 曲想と楽器の音色や旋律、音の重なりとの関わりを捉え、 低音の響きや音の重なり方の違いを楽しみながら曲全体を味わって聴 く。	◆音色、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 思③【行動観察、発言内容、ワークシート】
みんなで 気もちを あわせ て うたいましょう。	(共)はるが きた	9	●\見つける/ 歌詞を読んで情景を想像しながら曲想をつかんで歌う。	◆曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの 関わりについて気付いている。 ①知【発言内容、演奏聴取】
			●\かんがえる/ 旋律の特徴を感じ取って、曲想に合った歌い方について思いをもつ。	◆音色、旋律、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 思④【発言内容、演奏聴取】
		10	● \うたう / 曲想に合った歌い方を生かして、声を合わせて歌う。	 ◆思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能や、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能、互いの歌声を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ④技【発言内容、演奏聴取】 ◆歌声や楽器の音色、声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、演奏聴取】 ※第1時から第10時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。